

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

赤潮プランクトン調査の結果、魚類を死滅させるおそれがあるコクロディニウム ポリクリコイデスが最大で 20細胞/mL 確認されました。ヒロウラ及び栄喜湾内で増殖傾向ですので、海色等には十分注意してください。また、魚類に有害なカレニア ミキモトイが最大で 1細胞/mL されました。

貝毒プランクトン調査の結果、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム カテナータムが最大で 9細胞/mL 確認されました。

※（本日は、海水 1mL でプランクトンの検鏡を実施しております。）

調査時間 (10:00~12:00)	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	カレニア ミキモトイ	ギムノディニウム カテナータム
採集地点	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)	*1	*1	*3
藻津 下図① 透明度:13.0m	0	22.9	31.6	6.64	0	0	0
	5	22.1	33.8	6.72	0	1	0
	10	21.7	33.9	6.47	0	0	0
宿毛湾中央 下図② 透明度:11.0m	0	22.9	29.1	6.84	0	0	0
	5	21.9	33.7	6.24	0	0	0
	10	21.8	33.8	6.52	0	0	0
シラハエ 下図③ 透明度:10.0m	0	23.4	30.3	7.07	0	0	0
	5	22.3	33.5	6.68	0	0	0
	10	21.9	33.7	6.87	8	0	0
ヒロウラ 下図④ 透明度:5.5m	0	24.4	28.7	7.18	4	0	0
	5	22.8	33.5	6.90	20	0	0
	10	22.1	33.6	6.51	12	0	9
一切田 下図⑤ 透明度:6.0m	0	23.6	29.2	6.86	0	0	0
	5	22.7	33.5	7.10	16	0	0
	10	22.2	33.7	6.85	0	0	0

*1：魚類を死滅させるおそれがある種 (細胞/mL)

*2：魚類を弱らさせるおそれがある種、*3：麻痺性貝毒の原因種

※ 魚類を死滅させるおそれがある種の注意報及び警報値

	注意報	警報	数値の参考県
コクロディニウム ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1,000 細胞/mL	大阪府
カレニア ミキモトイ	100 細胞/mL	1,000 細胞/mL	大阪府

〈下図〉

